

■米国：NYISO では 1,000 万 kW の電源新設にもかかわらず供給予備力が低下

ニューヨーク ISO (NYISO) は 2014 年 6 月 17 日、現在の卸電力市場の状況について纏めたレポート (POWER TRENDS 2014: Evolution of the Grid) を発表した。レポートでは、ピーク需要の伸び、発電所の新設を上回る廃止、分散型電源の普及、天然ガスへの依存といった現在直面する課題について述べている。2000 年以降 1,041 万 kW の電源新設があったもののそれを電源廃止が上回っている。2014 年は目標供給予備率を上回るものの予備力は低下していると述べている。また、天然ガス依存を懸念しており、現在 50%以上が天然ガス火力であるが、新設計画の 70%が天然ガスであり、益々天然ガス火力のシェアが大きくなり、天然ガス価格の高騰が卸電力価格に大きく影響を与えることを懸念している。